



安全データシート

Copyright, 2021, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	27-8397-5	版	5.01
発行日	2021/03/03	前発行日	2016/07/14

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

3MTM ヘッドライトコーティング 38060

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	オート・アフターマーケット 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体： 区分2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性： 区分2A
皮膚腐食性及び皮膚刺激性： 区分2
吸引性呼吸器有害性： 区分1
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分3

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

炎 感嘆符 健康有害性

ピクトグラム



危険有害性情報

H225	引火性の高い液体及び蒸気。
H319	強い眼刺激。
H315	皮膚刺激
H304	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
H336	眠気又はめまいのおそれ。

注意書き**安全対策**

P210A	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P240B	容器を接地しアースを取る。
P242A	火花を発生させない工具を使用すること。
P243A	静電気放電に対する措置を講ずること。
P241	防爆構造の照明、換気、電気装置を用いること。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレアの吸入を避けること。
P264	取扱後は、手指をよく洗うこと。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態を確保すること。
P303 + P361 + P353A	皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P331	無理に吐かせないこと。
P301 + P310	飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
P321	特別な処置が必要である（このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ）。
P312	気分が悪いときは医師に連絡すること。
P370 + P378G	火災の場合：可燃性液体用の消火剤（粉末消火剤または炭酸ガスなど）を使用すること。

保管

P403 + P233	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405	施錠して保管すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
シリコン混合物	混合物	30 - 60
イソオクタン	26635-64-3	40 - 50

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。すすぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

無理に吐かせない。直ちに医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：可燃性液体用の消火剤（粉末消火剤または炭酸ガスなど）を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中
刺激性蒸気あるいはガス	燃焼中

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火災にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域より退避させること。熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。火花を発生させない工具を使用すること。新鮮な空気ですその場所を換気する。警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。 大量の場合には、下水設備や水施設に流入するのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。 漏洩箇所を泡消火薬剤で覆う。 ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。 出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。 粉塵の空気中への放出を避ける。(圧縮空気によるブロー等) 金属製の容器に収納する。 有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い**

熱した材料に触れないこと。 工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用する時には、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後は手指をよく洗うこと。 環境への放出を避けること。 酸化剤との接触を避ける(塩素、クロム酸等)。 静電気帯電防止靴あるいは適切にアースした靴を着用する。 着火の危険を最小限にするために、この製品を使用する作業のために適切な電气的分類を決定し、引火性気体の蓄積を避けるために、特定の局所排気装置を選定してください。 輸送中に静電気蓄積の可能性がある場合、容器を接地し、アースを取ること。 加工中に可燃性粉塵が発生することがある。 粉塵は着火源があると爆発することがある。 可燃性粉塵が蓄積しないように定期的に清掃する。 蒸気が地上や床をはって着火源に流れ、遠距離引火することがある。

保管

換気の良い場所で保管する。涼しいところに置くこと。 容器をしっかりと密閉しておくこと。 日光から遮断すること。 熱から離して保管する。 酸から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置**管理項目****許容濃度及び管理濃度**

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
オクタン	26635-64-3	ACGIH	TWA : 300ppm	
オクタンおよびその異性体	26635-64-3	ACGIH	TWA : 300ppm	
オクタンおよびその異性体	26635-64-3	JSOH OELs	TWA (8時間) : 1400 mg/m ³ (300 ppm)	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL：短時間ばく露限界値
CEIL：天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。 防爆換気装置を使用する。 適切な局所排気装置を使用する。 粉塵を作業エリアから除外するために、粉塵発生源の付近に局所廃棄装置を設置する。 粉塵の除外システム、搬送システム、加工機などの防爆性がどうかを検討する。爆発時の逃し弁、爆発防止、酸素遮断などの必要性を検討する。 防爆電気機器の必要性について検討する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。
間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。
推奨される手袋の材質： ニトリルゴム

呼吸用保護具

ばく露状況評価で吸入保護具が必要と判断された場合には、吸入防止手順に従って、以下のものから呼吸保護具を選択する。
有機ガス及び微粒子用半面形あるいは全面形防毒・防じんマスク。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

熱危険性

やけどを防ぐため、この製品を取り扱う際は、耐熱手袋を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态：	液体
色	無色。、淡黄色
臭い	穏やかな匂い。
臭いの閾値	データはない。
pH	データはない。
融点・凝固点	データはない。
沸点、初留点及び沸騰範囲	116 °C
引火点	9.9 °C [試験方法：クローズドカップ法]
蒸発速度	データはない。

引火性（固体、ガス）	適用しない。
燃焼点（下限）	データはない。
燃焼点（上限）	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	0.82 g/ml
比重	0.82 [参照基準：水=1]
溶解度	なし。
溶解度（水以外）	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	データはない。
揮発性有機化合物	
揮発分	
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 （JIS-GHSの要求項目ではない）	

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

熱。
火花ないし炎

混触危険物質

知見はない。

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあ

ります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

眼への激しい刺激： 発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

皮膚に付着した場合

皮膚刺激： 発赤、腫脹、かゆみ、乾燥、水疱、ひび、痛みなどの症状。

吸入した場合

気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

飲み込んだ場合

化学性（吸引性）肺炎： せき、呼吸困難、喘鳴、血痰及び肺炎などの症状が発現し、死に至ることがある。 胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

特定標的臓器毒性、単回ばく露

中枢神経機能の抑制： 頭痛、目眩感、眠気、協調障害、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失などの症状。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
イソオクタン	皮膚		推定値＞ 5,000 mg/kg
イソオクタン	吸入－粉塵/ ミスト		推定値＞ 12.5 mg/l
イソオクタン	吸入－蒸気		推定値＞ 50 mg/l
イソオクタン	経口摂取		推定値＞ 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

呼吸器感作性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

発がん性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖毒性

生殖発生影響

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

吸引性呼吸器有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの 1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。 セクション 2 の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場

合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生毒性（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生毒性（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
イソオクタン	26635-64-3		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
イソオクタン	26635-64-3	推定値 光分解		光分解半減期（空气中）	3.4 日（t 1/2）	非標準的な手法

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
イソオクタン	26635-64-3	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	282	推定値：生態濃縮係数

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 1 9 9 3 その他の引火性液体

輸送分類（IMO）：3 引火性液体

輸送分類（IATA）：3 引火性液体

容器等級：Ⅱ

国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

消防法：第四類第一石油類

船舶安全法、航空法：引火性液体類

主な法規制物質

法規名			
成分	安衛法（表示・通知）	化管法	毒劇法
イソオクタン	115（n-オクタン）	該当なし。	該当なし。

16. その他の情報

改訂情報

セクション 1：所在地 情報修正。

セクション 1：担当部門名 情報修正。

セクション 2：GHS分類 情報修正。

セクション 2：健康有害性 情報修正。

セクション 2：物理化学的危険性のステートメント 情報修正。

セクション 2：注意書き - 安全対策 情報修正。

セクション 2：注意書き - 応急措置 情報修正。

セクション 2：注意書き - 保管 情報の追加。

セクション 2：注意喚起語 情報修正。

セクション 3：「この製品は混合物です。」の標準フレーズ 情報修正。

セクション 4：応急措置（急性・遅発性症状） 情報修正。

セクション 4：応急措置 - 医療機関への報告（REACH/GHS） 情報修正。

セクション 4：応急措置（眼に入った場合）の情報 情報修正。

セクション 4：応急措置（飲み込んだ場合）の情報 情報修正。

セクション 4：応急措置（吸入した場合）の情報 情報修正。

セクション 4：応急措置（皮膚の接触した場合）の情報 情報修正。

セクション 4：毒性学的影響情報 情報の削除。

セクション 5：火災時情報（消火法） 情報修正。

セクション 5：火災時情報（消火剤） 情報修正。

セクション 5：火災時情報（特殊有害性） 情報修正。

セクション 5：燃焼時有害性の表 情報修正。

セクション 6：封じ込め及び浄化の方法及び機材 情報修正。

セクション 6：事故漏出時の清掃 情報修正。

セクション 6：事故漏出時の措置 情報修正。

セクション 6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正。

セクション 7 : 貯蔵情報 情報修正.
セクション 7 : 取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
セクション 8 : 職業暴露情報 情報修正.
セクション 8 : 眼および顔面保護 情報修正.
セクション 8 : 作業環境許容値 情報修正.
セクション 8 : OEL登録機関の説明 情報修正.
セクション 8 : 保護具 - 眼 情報修正.
セクション 8 : 保護具 - 吸入 情報修正.
セクション 8 : 保護具 - 皮膚/手 情報修正.
セクション 8 : 保護具 - 高温危険性 情報修正.
セクション 8 : 呼吸器保護 - 推奨する呼吸用保護具のガイド 情報修正.
セクション 8 : 呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.
セクション 8 : 皮膚保護 - 推奨する手袋 情報修正.
セクション 8 : STL記号 情報修正.
セクション 8 : TWA記号 情報修正.
セクション 9 : 沸点/初留点/沸騰範囲 情報修正.
セクション 9 : 分解温度 情報修正.
セクション 9 : 融点/凝固点 情報修正.
セクション 9 : 色 情報の追加.
セクション 9 : 蒸発速度情報 情報修正.
セクション 9 : 燃焼性 (固体、ガス) 情報 情報修正.
セクション 9 : 燃焼点 (下限) 情報 情報修正.
セクション 9 : 燃焼点 (上限) 情報 情報修正.
セクション 9 : 引火点情報 情報修正.
セクション 9 : ナノパーティクル 情報の追加.
セクション 9 : n-オクタノール/水分配係数の情報 情報修正.
セクション 9 : 臭気限界 情報修正.
セクション 9 : 臭い、色、グレード情報 情報の削除.
セクション 9 : 揮発分 情報の追加.
セクション 9 : pH情報 情報修正.
セクション 9 : 比重情報 情報修正.
セクション 9 : 溶解性 (水以外) 情報修正.
セクション 9 : 溶解性 (水以外) のテキスト 情報の削除.
セクション 9 : 水溶解性 情報修正.
セクション 9 : 蒸発密度 情報の追加.
セクション 9 : 蒸発密度 情報の削除.
セクション 9 : 粘度 情報の削除.
セクション 9 : 粘度 情報の追加.
セクション 9 : 水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 情報の追加.
セクション 9 : 揮発性有機化合物 情報の追加.
セクション 10 : 反応性情報 情報修正.
セクション 10 : 有害分解物 情報修正.
セクション 10 : 避けるべき条件 情報修正.
セクション 10 : 有害な分解物の表 情報修正.
セクション 10 : 有害な重合反応の性状 情報修正.
セクション 10 : 避けるべき物質 情報修正.
セクション 11 : 急性毒性の表 情報修正.
セクション 11 : 追加毒性情報のステートメント 情報修正.
セクション 11 : 吸引ハザード 情報修正.

セクション 1.1 : 発がん性 情報修正.
セクション 1.1 : 分類放棄声明 情報修正.
セクション 1.1 : 表テキストに非開示の成分 情報修正.
セクション 1.1 : 生殖細胞変異原性 情報修正.
セクション 1.1 : 健康影響情報 (眼) 情報修正.
セクション 1.1 : 健康影響情報 (飲み込んだ場合) 情報修正.
セクション 1.1 : 健康影響情報 (吸入した場合) 情報修正.
セクション 1.1 : 健康影響情報 (皮膚) 情報修正.
セクション 1.1 : 呼吸感作性 情報修正.
セクション 1.1 : 眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性 情報修正.
セクション 1.1 : 単回ばく露時の標準フレーズ 情報修正.
セクション 1.1 : 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 情報修正.
セクション 1.1 : 皮膚感作性 情報修正.
セクション 1.1 : 特定標的臓器毒性 - 反復ばく露 情報修正.
セクション 1.1 : 特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 情報修正.
セクション 1.2 : 水生生物への急性毒性情報 情報修正.
セクション 1.2 : 水生生物への慢性毒性情報 情報修正.
セクション 1.2 : 危険性の分類 情報修正.
セクション 1.2 : 成分生態毒性情報 情報修正.
セクション 1.2 : 材料の生態毒性に関するデータテキストなし 情報修正.
セクション 1.2 : 残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション 1.2 : 生態濃縮性情報 情報修正.
セクション 1.3 : 廃棄物の処理ノート 情報修正.
セクション 1.4 : 輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
セクション 1.4 : IATA分類の標準フレーズ 情報修正.
セクション 1.4 : IMO分類の見出し標準フレーズ 情報修正.
セクション 1.4 : 国連番号の標準フレーズ 情報修正.
セクション 1.5 : 法規名 - 表 情報修正.
セクション 1.5 : 適用法規のステートメント 情報修正.
セクション 1.6 : UK放棄声明 情報の削除.
セクション 1.6 : Webアドレス 情報修正.

免責事項: この安全データシート情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません、本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。